



平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月4日

上場会社名 堀田丸正株式会社

上場取引所 東

コード番号 8105 URL <http://www.pearly-marusho.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 太田 功

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長 (氏名) 矢部 和秀

TEL 03-3548-8139

四半期報告書提出予定日 平成23年11月8日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (平成23年11月17日開催予定 機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	4,046	△9.7	△23	—	△5	—	△12	—
23年3月期第2四半期	4,481	7.9	△110	—	△93	—	△105	—

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 △10百万円 (—%) 23年3月期第2四半期 △112百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	△0.27	—
23年3月期第2四半期	△2.29	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	5,160	—	3,042	—	—	59.0
23年3月期	5,354	—	3,098	—	—	57.9

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 3,042百万円 23年3月期 3,098百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	1.00	1.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	1.00	1.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,500	△8.6	25	—	45	—	20	—	0.44

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ― 社 (社名) 、 除外 ― 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	49,280,697 株	23年3月期	49,280,697 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	3,370,527 株	23年3月期	3,369,427 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	45,910,721 株	23年3月期2Q	45,913,640 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビューは終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) 追加情報	10
(6) セグメント情報等	11
(7) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	12
(8) 重要な後発事象	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、平成23年3月11日に発生した東日本大震災の影響による経済の混乱や生産活動の停滞から脱却しつつありますが、原子力発電所事故を起因とする電力供給不安の慢性化や放射能汚染の深刻化には、長期的な対処を余儀なくされている状況にあります。また、米国債の格付け引き下げをきっかけとした株価の下落、欧州経済の信用力低下、急激な円高の進行など、先行きの不透明感が強まるなか、雇用・所得環境の悪化懸念が増大しつつある状況であります。

当衣料業界におきましては、震災後の消費自粛が一段落し、個人消費は回復の兆しを見せるものの、雇用情勢や給与所得の悪化懸念などから、消費意欲は依然として低水準にとどまり、全般に低調に推移いたしました。

このような事業環境のもと、当社グループの当第2四半期連結累計期間は依然として個人の消費意欲が低く、また寝装事業における量販店との取組の見直しが影響し、売上高は減少しましたが、事務所の移転や統合による賃料の削減および寝装事業における量販店取引の見直しによる物流コストの削減等で、営業利益面では大幅な改善が図れました。

これらの結果、当社グループの当第2四半期連結累計期間は、売上高40億46百万円（前年同期比9.7%減）、営業損失は23百万円（前年同期は営業損失1億10百万円）、経常損失は5百万円（前年同期は経常損失93百万円）、四半期純損失は12百万円（前年同期は四半期純損失1億5百万円）となりました。

和装事業は、個人消費の低迷が依然として続き、売上高は減少いたしました。事務所の移転や統合による賃料の削減、催事販売に係る経費等の見直しを継続し、セグメント利益は大幅に改善いたしました。この結果、売上高は8億99百万円（前年同期比3.1%減）、セグメント利益は38百万円（前年同期はセグメント利益7百万円）となりました。

寝装事業は、量販店との取引を見直し、売上高は大幅に減少いたしました。物流コストの大幅な削減を図りました。この結果、売上高は5億53百万円（前年同期比32.1%減）、セグメント利益は1百万円（前年同期はセグメント損失1百万円）となりました。

洋装事業は、消費意欲の低迷により婦人洋品等の買い控えが続き、売上高は減少いたしました。子会社における経費削減により、セグメント利益は大幅に改善いたしました。この結果、売上高は18億73百万円（前年同期比7.5%減）、セグメント利益は22百万円（前年同期はセグメント損失5百万円）となりました。

宝飾・バッグ事業は、和装事業同様、個人消費の低迷が続き、売上高は減少いたしました。販売経費の見直し等により、セグメント利益は改善いたしました。この結果、売上高は68百万円（前年同期比15.6%減）、セグメント利益は3百万円（前年同期はセグメント損失9百万円）となりました。

意匠燃糸事業は、国内市場で燃糸の需要が持ち直し、売上高は伸長いたしました。綿糸等の原料が値上りしたことによって原価コストが上昇し、売上総利益は減少いたしました。この結果、売上高は6億51百万円（前年同期比3.0%増）、セグメント利益17百万円（前年同期はセグメント利益22百万円）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、51億60百万円（前連結会計年度末比3.6%減）となりました。これは主に受取手形及び売掛金、商品及び製品が減少したことによるものです。一方、負債は21億18百万円（前連結会計年度末比6.1%減）となりました。これは主に支払手形及び買掛金が減少したことによるものです。純資産は30億42百万円（前連結会計年度末比1.8%減）となりました。これは主に配当によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前期末に比べ、57百万円減少し、2億11百万円となっております。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果減少した資金は、67百万円（前年同四半期は1億7百万円の減少）となりました。これは主に、仕入債務が減少したことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果増加した資金は、39百万円（前年同四半期は25百万円の増加）となりました。これは主に、貸付金の回収によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果減少した資金は、29百万円（前年同四半期は1億25百万円の減少）となりました。これは主に、長期借入れによる収入はあったものの、長期及び短期借入金の返済による支出及び配当金の支払いによる支出があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第2四半期におけるわが国経済は、雇用、所得環境は緩やかな回復が予想されるものの、個人消費については先行き不透明であると思われます。

このような状況の中、当社グループについては、営業活動に全力をあげるとともに事業所統合による賃借料の削減や販売経費等の削減に注力し、経営の合理化を図ってまいります。このような状況を踏まえ、通期の連結業績予想は平成23年5月18日の「平成23年3月期 決算短信」で公表いたしました数値に変更はありません。

なお、本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

当社グループをとりまく事業環境は厳しい状況が継続しており、前連結会計年度において3期連続の営業損失を計上しております。このような状況により、継続企業の前提に関する注記を開示するまでには至りませんが、当社グループが将来にわたって事業活動を継続するとの前提に重要な疑義を生じさせる事象又は状況が存在しております。当社といたしましては以下の対応策を実施することにより、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないものと考えているため、継続企業の前提に関する注記は記載しておりません。

当社グループの対応策としては、以下のとおりであります。

1. 事業所統合による賃借料等の削減

東京・大阪・福岡に所在する各事業の事業所を統合することにより賃借料及び管理維持費等の削減。

2. 自社物流倉庫の縮小による賃料等の削減

寝装事業において、量販店との取引を見直したことにより、自社物流倉庫等の大幅な縮小による倉庫賃料及び管理維持費等の削減。

3. 人件費の削減

事業所の統合、自社物流の縮小及び取引先を見直したことによる事業縮小に加え、ワークシェアリングを採用し人件費の削減を図る。

4. 販売経費の削減

和装事業において、催事効率を見直し、催事販売等に係る経費を削減。

上記の経費削減策を実行しコスト削減が図れることから、当期における営業利益計上は十分可能と判断しております。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	316,955	248,836
受取手形及び売掛金	1,823,715	1,732,925
商品及び製品	1,406,134	1,371,290
仕掛品	23,015	31,716
原材料及び貯蔵品	75,266	78,297
前払費用	40,136	42,067
短期貸付金	25,347	25,285
未収入金	18,617	33,203
預け金	6,403	12,986
その他	10,024	6,216
貸倒引当金	△86,978	△70,442
流動資産合計	3,658,638	3,512,384
固定資産		
有形固定資産	349,080	346,972
無形固定資産		
のれん	98,532	83,373
その他	32,833	29,271
無形固定資産合計	131,365	112,644
投資その他の資産		
投資有価証券	55,951	57,900
長期貸付金	825,863	790,544
破産更生債権等	410,086	380,025
長期前払費用	52,183	47,851
その他	319,808	329,831
貸倒引当金	△448,364	△417,906
投資その他の資産合計	1,215,529	1,188,246
固定資産合計	1,695,975	1,647,863
資産合計	5,354,614	5,160,248

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,739,714	1,584,250
短期借入金	113,000	101,000
1年内返済予定の長期借入金	52,800	78,129
未払法人税等	23,860	14,074
未払消費税等	1,401	21,038
賞与引当金	—	2,700
返品調整引当金	20,184	16,207
その他	171,173	206,976
流動負債合計	2,122,135	2,024,376
固定負債		
長期借入金	31,200	34,350
長期未払金	102,033	58,484
繰延税金負債	951	820
その他	45	45
固定負債合計	134,231	93,700
負債合計	2,256,366	2,118,077
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,975,070	1,975,070
資本剰余金	273,659	273,659
利益剰余金	1,038,724	980,397
自己株式	△187,803	△187,844
株主資本合計	3,099,650	3,041,282
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	312	2,186
為替換算調整勘定	△1,714	△1,298
その他の包括利益累計額合計	△1,402	888
純資産合計	3,098,248	3,042,170
負債純資産合計	5,354,614	5,160,248

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
売上高	4,481,357	4,046,072
売上原価	3,024,816	2,707,754
売上総利益	1,456,540	1,338,317
販売費及び一般管理費	1,567,333	1,362,082
営業損失(△)	△110,793	△23,765
営業外収益		
受取利息	13,232	7,767
受取配当金	1,262	1,056
受取賃貸料	4,292	5,081
貸倒引当金戻入額	—	5,677
その他	3,754	4,230
営業外収益合計	22,540	23,813
営業外費用		
支払利息	3,559	2,828
その他	1,309	2,735
営業外費用合計	4,868	5,563
経常損失(△)	△93,122	△5,514
特別利益		
貸倒引当金戻入額	5,368	13,051
固定資産売却益	—	196
特別利益合計	5,368	13,248
特別損失		
有形固定資産除却損	—	406
事務所移転費用	2,253	9,887
廃棄物処理損失	5,213	—
特別損失合計	7,466	10,293
税金等調整前四半期純利益	△95,219	△2,559
法人税、住民税及び事業税	9,932	9,856
法人税等合計	9,932	9,856
少数株主損益調整前四半期純利益	△105,152	△12,416
四半期純損失(△)	△105,152	△12,416

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△105,152	△12,416
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△7,656	1,874
為替換算調整勘定	△190	416
その他の包括利益合計	△7,847	2,290
四半期包括利益	△112,999	△10,125
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△112,999	△10,125

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△95,219	△2,559
減価償却費	7,218	7,309
のれん償却額	15,158	15,158
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△21,807	△46,994
賞与引当金の増減額(△は減少)	△8,550	2,700
返品調整引当金の増減額(△は減少)	△3,350	△3,976
受取利息及び受取配当金	△14,494	△8,824
支払利息	2,932	2,828
売上債権の増減額(△は増加)	180,887	92,134
たな卸資産の増減額(△は増加)	△24,345	23,813
仕入債務の増減額(△は減少)	△73,200	△157,242
長期未払金の増減額(△は減少)	—	△43,549
その他	△68,120	65,470
小計	△102,891	△53,731
利息及び配当金の受取額	14,494	8,824
利息の支払額	△3,110	△2,760
法人税等の支払額	△16,232	△20,145
営業活動によるキャッシュ・フロー	△107,739	△67,813
投資活動によるキャッシュ・フロー		
担保預金の増減額(△は増加)	20,566	11,036
有形固定資産の取得による支出	△92	△1,656
有形固定資産の売却による収入	—	200
無形固定資産の取得による支出	△17,286	△1,358
投資有価証券の取得による支出	△715	△768
投資有価証券の売却による収入	—	562
貸付けによる支出	△21,220	—
貸付金の回収による収入	37,608	35,381
敷金の差入による支出	△4,898	△8,017
敷金の回収による収入	11,849	4,320
その他	△20	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	25,789	39,698
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△7,000	△12,000
長期借入れによる収入	—	60,000
長期借入金の返済による支出	△26,400	△31,520
自己株式の取得による支出	△103	△41
配当金の支払額	△92,230	△45,570
財務活動によるキャッシュ・フロー	△125,733	△29,131
現金及び現金同等物に係る換算差額	11	163

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△207,672	△57,082
現金及び現金同等物の期首残高	457,562	269,033
現金及び現金同等物の四半期末残高	249,889	211,950

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 追加情報

(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

(6) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント						その他 (注1) (千円)	合計 (千円)	調整額 (千円)	四半期連 結損益計 算書計上 額 (千円)
	和装事業 (千円)	寝装事業 (千円)	洋装事業 (千円)	宝飾・バ ッグ事業 (千円)	意匠燃糸 事業 (千円)	計 (千円)				
売上高										
(1) 外部顧客に対 する売上高	927,991	814,849	2,024,843	81,351	632,320	4,481,357	—	4,481,357	—	4,481,357
(2) セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	1,495	1,495	△1,495	—
計	927,991	814,849	2,024,843	81,351	632,320	4,481,357	1,495	4,482,852	△1,495	4,481,357
セグメント利益 (又はセグメント 損失)	7,569	△1,996	△5,797	△9,104	22,895	13,567	728	14,296	△125,090	△110,793

(注) 1. 「その他」区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、人材派遣事業を含んでおり
ます。

2. セグメント利益の調整額△125,090千円には、セグメント間取引消去△295千円、のれん償却額15,158千
円、各報告セグメントに配分していない全社費用110,226千円が含まれております。全社費用は、主に報
告セグメントに帰属しない一般管理部門経費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント						その他 (注1) (千円)	合計 (千円)	調整額 (千円)	四半期連 結損益計 算書計上 額 (千円)
	和装事業 (千円)	寝装事業 (千円)	洋装事業 (千円)	宝飾・バ ッグ事業 (千円)	意匠燃糸 事業 (千円)	計 (千円)				
売上高										
(1) 外部顧客に対 する売上高	899,431	553,211	1,873,179	68,677	651,571	4,046,072	—	4,046,072	—	4,046,072
(2) セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	1,354	1,354	△1,354	—
計	899,431	553,211	1,873,179	68,677	651,571	4,046,072	1,354	4,047,426	△1,354	4,046,072
セグメント利益 (又はセグメント 損失)	38,324	1,370	22,498	3,638	17,182	83,014	643	83,658	△107,423	△23,765

(注) 1. 「その他」区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、人材派遣事業を含んでおり
ます。

2. セグメント利益の調整額△107,423千円には、セグメント間取引消去16千円、のれん償却額15,158千
円、各報告セグメントに配分していない全社費用92,281千円が含まれております。全社費用は、主に報
告セグメントに帰属しない一般管理部門経費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

(7) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(8) 重要な後発事象

該当事項はありません。